

学級のテーマ

◆川や海を取り巻く問題についてのテーマ

- ①生活, 健康, 安全 ②観光, レジャー, スポーツ ③文化, 芸術 ④歴史, 民俗
⑤地球, 海洋 (海に関わる地球の仕組み) ⑥物質 (海の科学的特性) ⑦生命
⑧環境, 循環 ⑨資源, エネルギー ⑩経済, 産業 ⑪管理 ⑫国際関係

◆もし自分が海洋教育の話聞いたとき、「海を守らないといけないなあ」と感じるとしたらどのテーマの可能性が高いでしょうか。また、それはなぜでしょうか。

◆自分の班の担当テーマ



◆班ごとに発表内容と方法のアイデアを考えていきましょう。(今後調べていかなければいけないこと, 発表の形態, 使う道具や機器など)

◆タブレットを用いて調べましょう。



<桑名の海・伊勢湾の産業、レジャーについて>

<桑名の海・伊勢湾の環境について ~桑名の海はきれいなのか~>



◆これまでの学びを地図にまとめましょう。上流域, 中流域, 下流域の様子(その地域の長良川的环境や生物, 人々の営みなど)を書き込みましょう。

The map shows the Nagara River basin flowing from north to south. A red line traces the river's path. Three callout boxes are connected to the river by lines:

- 上流域 (鮎パークでの学び)**: Located at the northern end of the river.
- 中流域 (自分たちの地域)**: Located in the middle section, covering the GUJO and SEKI areas.
- 下流域~海 (桑名の海の様子)**: Located at the southern end, near the coast.

Geographical labels on the map include: 長良川 (Nagara River), GUJO, SEKI, GIFU, SUNOMATA, HASHIMA, KAWA, and KUWANA.

◆前回の西表島の中学生の発表の内容についての意見

- 発表の流れとして、西表島がどういう島なのか話し、その次に問題、課題点を言っている。もっと長良川やその先の伊勢湾について詳しく知って、考える必要がある。
- 自分は彼らのように、育ったところについてあまり知らない。
- 西表島の方はさんごだったから、岐阜は鮎をつかって話すのもいい。
- 私たちにできることは、伊勢湾の水質汚濁を止めるために何が必要か、自分たちにできることを現状を踏まえて伝えることだと思った。
- 様々な観点から話をしていて、自分たちにできるのだろうか、と思った。
- 自分の島に誇りをもってやっているのが分かる。「自慢の海」とはっきり言っていた。
- 本当に自分たちの県の海を守りたいという思いがなければ、こんなにたくさんを話せない。本気の気持ちがすごい。
- 海洋教育をやっても自分たちは「自分たちがやらなきゃ」とはならなかったけど、西表島の子たちは自分たちが何か行動しなければと、海の危機を伝えていた。
- 正直、海なし県の私たちが海洋についてあんなに話すことはないのではないかと思った。
- 必死さが違う。彼らは生活と海がつながっている。確かに長良川はあるけれど、海のない自分たちにできることや伝えられることはあるのだろうか、と思う。

◆海なし県の我々ができる価値ある活動やその発信とは、どのようなものになるのだろうか

振り返り

◆ 2年生までに、長良川についてどのような内容を学習してきたか書いてみましょう。

<自分の知識>

<仲間の発表から>

◆長良川の下流域へのつながり

長良川がどこからどこへ流れているか、自分の予想を地図に書き込んでみましょう。



振り返り

